

「知る」を辞典でひくと、次のように記してありました。

- 1 物事存在・発生などを確かにそうだと認める。認識する。
- 2 気づく。感じとる。

今年の福津市環境リーダー養成講座は川編で、今まで以上に、改めて「知る」ことの連続です。



川は、源流から下流までその界隈の様々な人々の生活の身近にあります。その川の環境構造は、瀬と淵の蛇行で形成され、自分にはイメージでしかなかった源流、上流、中流、下流は、勾配によって決まること、水質は当然下流に向かうにつれて富栄養となること、よって当然、生物相は地点によって異なること、などのことから、川には「本来あるべき姿」があるのだ、ということ学びました。自分が、どこの地点の川も、ほたるが飛ぶことがより良いような印象を持っていたことに、知らないって恐いな〜と改めて思いました。

また、実際に川に入って、生き物を捕まえる作業をすると、楽しかったり、くさかったり、危険だったり、頭で学んだこととはまた違うところで川を知ることができます。現場を体験したことで、川がぐっと身近になって、気になる存在になりました。



「知る」には、理論も実践も欠かせないなあと改めて思いました。屋外の体験を含む講座は、きついですが、その分有意義でもあります。機会があったらご参加をお勧めします。

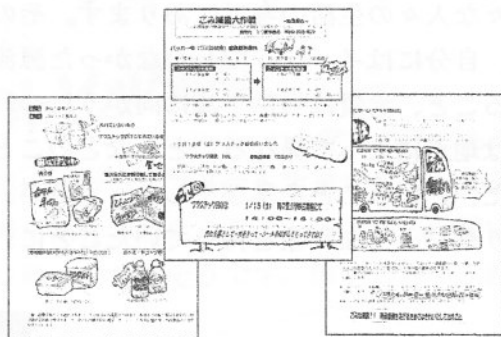
## エコけんニュースの足跡

エコけんニュースは、今号で 120 号になりました。毎月 1 回、エコけんの活動や、環境に関する記事をおよそ 10 年間、休まず掲載し続けています。

記念すべき第 1 号は、平成 11 年 12 月始めに発行。「ごみ処理施設の建設をきっかけに古賀市の将来を考える会」という団体名で表題を「ごみ減量大作戦」と銘打ち、プラスチック回収の参加を呼びかけました。広報制作の財源は、会費とカンパ、配布はボランティアによる各戸への手配りでした。毎月、市役所の印刷室で 5000 部を印刷・仕分けする作業は、時間もかかり大変でしたが、今ではいい思い出になっています。



内容は、題名の通り“ごみ減量のノウハウ”や“ごみ減量の必要性の裏付け記事やデータ”“プラスチック回収の日程や注意事項”など、ごみに関することに限定していました。ごみ減量を実行していく上で多くの人がつまずく、生ごみ処理のにおい・虫への対処法や分別の疑問など、自分たちでやってみて、実感し、自分なりの問題解決記事を載せていきました。



活動も軌道に乗り、3 年目に入った平成 14 年 12 月、29 号発行の折、表題を「エコけんニュース」に改めました。ごみ減量中心から「環境保全とよりよいコミュニティ形成に寄与する団体」になるべく、記事も多様化していくことにしたのです。

このような課程を通し、私たちは NPO 法人化を選択しました。また、翌年の 3 月プラスチック回収の終了とともにニュースの近隣地域への手配りをやめ、会員への配布に変えていきました。



今回、この記事を書くに当たりざっとニュースを見直すと、10 年前とは思えない新しい考え方や工夫が満載でした。当時の私たちが、自分たちなりのスタイルを模索していることがわかります。読んでみたいなあ、と興味を持たれましたらエコロの森 2 F「登録団体活動」の一角にニュースが置いてありますので、ぜひご一読下さい。

(ひら)

梅雨の晴れ間の7月3日、福津市の金子教育長にインタビューするため、津屋崎庁舎を訪れました。宗像市立東郷小学校の校長を退かれ、4月に教育長に就任されたそうで、重々しく落ち着いたのある物腰は、まさに「校長先生」のイメージにぴったりでした。

金子教育長は、次世代に引き継ぐべき、限りある資源を無駄にしてはいけないと常々思われているそうです。なんでも独り占めするのではなく、使いまわしたり、分け合うことを普段から心がけられているとのことでした。

また、最近「賞味期限」の日付に敏感な子どもが多く、食品が傷むのとは別なのにね、と笑われました。ご自身は、雨水利用に興味があり、その利用法を今後、考えてみたいとのことでした。

## ①関心のある環境問題は何ですか？

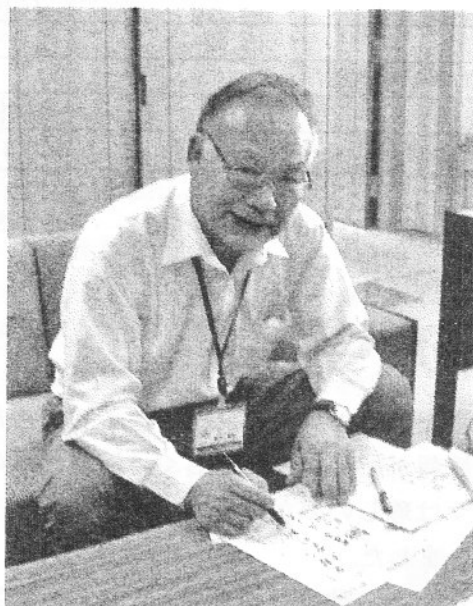
- ・地球温暖化

## ②実践しているエコ実践があれば教えてください

- ・冷暖房器具は、ぎりぎりまでがまんする。
- ・頂き物は、新鮮なうちに分けあう

## ③おすすめのエコ行動があれば教えてください

- ・節水、節電  
無理は長続きしない。  
ちょっとした心掛けで誰でもできる。



若い人たちの余暇を有効利用する能力や、高齢者の生活の知恵をもっと生かせたらと、締めくくられました。

## MYエコ宣言

無駄な消費行動はしない

次回は、岡垣町役場 山本 氏 (予定)です。 (ひら)

# 活動報告

～6月～

日	自主活動	エコロの森ステーション活動
2	エコけんニュース118号発行 定例会議	教室会議 活動育成会議 展示会議 ほっとちやっと72号発行
4		エコロ環境教室(子育て支援グループ 利用登録者) アンビシャスイベント参加会議出席 (M)
5		⊕ エコロ環境教室(小学校 事業者) 体験機器整備 (M)
6	エネぞう会議	(M)
9	連携教室(古賀東小)	エコロ環境教室(行政)
10		エコロ環境教室(行政区) 館外教室(福岡小) (M)
12		エコロ環境教室(小学校) 朝顔紐張り (11/12日 (M))
13	エネぞう会議	
16	ニュースレター50号配信	エコロ環境教室(小学校 利用登録者) グループ活動(もちや際) 家庭ごみ調査開始 (M)
17		エコロ環境教室(小学校) エコロなウオッシュアップ® もちやもちやオモチャ エコ大刀マ
18		夏休み教室通信発行 (M)
19		⊕ わくわく交流会
23		グループ活動(しずくっち倶楽部)
24	連携教室(古賀東小)	エコエコクッキング (M)
25		エコロ環境教室(小学校) (M)
26		(M)
27	エネぞう会議	
28		館外教室(アンビシャス広場)
30	エコけんニュース119号発行	エコロ環境教室(小学校) ほっとちやっと73号発行

※⊕ .....エコけんエコアップ情報配信 (M) .....利用登録メール配信

## 今日のトピックス!

豚インフルエンザ騒動も沈静化し、エコロの森には続々と小学校の子ども達が見学にやってきました。また、利用登録者出店のエコロフリマも定着してきたようです。そのうえインターネット上でフリマ情報が紹介されたらしく、遠方からの問い合わせもたくさんありました。平日のフリマは珍しいのだそうです。何かしらやり続けていると思わぬ展開があるものだと思います。

また、連携教室も始まり、こちらも充実した毎日でした。このようなことが比較的楽にできるのは、教具・教材などの環境整備のおかげだと思っていたのですが、先日A1サイズまでOKのプリンターが不調になったときは慌てました。モノもすごく大事な要素だな、としみじみ思ったことです。

エコロの森は夏休み教室が始まり活気づいています。皆様もお近くにお越しの際は お立ち寄りください。

# 思いを形に

特定非営利活動法人

# NPOエコけん

連絡先 〒811-3121 古賀市筵内 1970-1 玄界環境組合古賀清掃工場 再生・展示棟

TEL/FAX 092-944-3012 MAIL ADDRESS eco\_ecoken@ybb.ne.jp HP ADDRESS <http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/>